

豚肉情勢

9月6日 更新 JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容
供給	<p>1.国産 ○ 令和3年7月度の全国の肉豚出荷頭数は1,313.1千頭(前年比96.8%)となった。7月の全国地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道100.7%、東北99.0%、関東92.8%、北陸甲信越93.6%、東海102.1%、近畿93.1%、中四国94.0%、九州・沖縄97.3%である。</p> <p>○ 令和3年8月の全国と畜頭数は速報値で1,298.2千頭(8/31まで集計)で、前年同月比97.4%となっている。稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は61,819頭(前年は63,493頭/日、前年比△1,674頭/日)となっている。</p> <p>○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年8月24日付肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和3年9月1,337千頭(前年同月比99%)、10月1,434千頭(同97%)、11月1,442千頭(同99%)、12月1,447千頭(同97%)、翌年1月1,394千頭(同98%)で、下期合計で前年比98.2%と前年をわずかに下回ると予測している。</p> <p>○ 令和3年7月の輸入通関実績は豚肉全体で74.7千ト(前年同月比99.5%、前月比99.2%)となった。内訳は、堅調な内食需要によりチルドが35.4千ト(前年同月比102.2%、前月比99.4%)と前年比を上回る一方、フローズンは現地価格高や低迷する外食需要の影響で39.3ト(同97.2%、同98.9%)と前年比を下回った。主な国別では、チルドは米国18.6千ト(前年同月比123.2%)、カナダ15.1千ト(同88.5%)、メキシコ1.7千ト(同67.8%)となり、フローズンはスペイン11.2千ト(同111.4%)、メキシコ7.9千ト(同129.0%)、デンマーク5.7千ト(同93.3%)、米国2.7千ト(同75.6%)、カナダ2.9ト(同102.2%)となっている。</p> <p>○ (独)農畜産業振興機構が8月26日に公表した豚肉の需給予測では、8月の輸入量は、前年が新型コロナウイルス感染症の影響により北米からの輸出量が大きく減少したため、チルド・フローズンともに前年を上回ると予測している。9月は、チルドが北米・EUの輸出国内での需要の増加および現地価格の高騰により前年同月をわずかに下回る一方で、フローズンは前年同月の輸入量が大きく落ち込んだため、前年をやや上回ると見込みとなっている。7月から9月までの3か月平均では、チルド(前年比101.6%)・フローズン(同104.2%)ともに前年を上回る予測で、輸入数量は増加基調となっている。</p>
	<p>2.輸入 ○ (独)農畜産業振興機構が8月26日に公表した豚肉の需給予測では、8月の輸入量は、前年が新型コロナウイルス感染症の影響により北米からの輸出量が大きく減少したため、チルド・フローズンともに前年を上回ると予測している。9月は、チルドが北米・EUの輸出国内での需要の増加および現地価格の高騰により前年同月をわずかに下回る一方で、フローズンは前年同月の輸入量が大きく落ち込んだため、前年をやや上回ると見込みとなっている。7月から9月までの3か月平均では、チルド(前年比101.6%)・フローズン(同104.2%)ともに前年を上回る予測で、輸入数量は増加基調となっている。</p>
需要	<p>1.家計消費 ○ 総務省発表の令和3年6月期家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,810g(前年同月96.2%)、支出金額が2,506円(同93.6%)となり、購入量・金額とも、前年を下回った。(※前々年度同月比:購入量102.4%、金額104.1%)</p> <p>2.小売動向 7月概況 ○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の7月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,114億円(前年同月比97.4%、既存店ベース96.2%)と前年同月を下回った。気温上昇で食肉では焼肉・しゃぶしゃぶ用が好調な一方で、ハム等の加工肉やひき肉等の前年の反動による伸び悩みが主たる原因である。</p> <p>○ 日本チェーンストア協会が公表した7月販売概況によると、畜産品の売上は862億円(店舗調整後で前年同月比98.6%)となり、前年を下回る結果となった。鶏卵が唯一好調な一方、牛肉・豚肉・鶏肉や、ハム・ソーセージ類の荷動きが鈍かったとの報告がなされている。</p> <p>8月概況 ○ 8月は新型コロナウイルスの感染拡大や豪雨等の悪天候が続き、盆商戦は盛り上げには欠けたもの、内食需要は底堅く、末端の荷動は概ね堅調な推移となった。国産物・冷蔵品ではバラ・カタロースは好調、ウデヤスネ等のスノ物も堅調な荷動きとなった一方で、先月まで堅調だったモモの荷動きがやや失速、ロースも鈍い荷動きとなった。国産物・冷凍品は、冷蔵品と同様、バラ・カタロースを中心に荷動きが見られた。輸入品チルドは、通関遅れの恒常化でベリロ・ロイン系を中心に引き合いが強いが、フローズンは緊急事態宣言による酒類提供の制限や時短営業による外食需要の低迷のため、厳しい状態が続いている。</p> <p>3.加工肉仕向量 ○ 日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表の令和3年6月の豚肉加工品仕向量は31.7千ト(前年同月比96.1%)となった。内訳は、国内物6.3千ト(前年同月比97.9%)、輸入物25.4千ト(同95.6%)と国産・輸入ともに減少した。なお、上記仕向量とは別枠のシーズンドボークは10.0千ト(前年同月比98.0%)もわずかに減少した。</p>
	<p>1.在庫 ○ (独)農畜産業振興機構が8月26日に公表した豚肉の需給予測によると令和3年7月末の推定期末在庫量は184.6千ト(前年比81.9%、前月比98.3%)となり、前年を大きく下回った。内訳は、輸入品の在庫が160.6千ト(前年比78.7%、前月比98.9%)、国産品が23.9千ト(前年比111.9%、前月比94.5%)となり、輸入品は前年実績を下回り、国産品は前年実績を上回った。同機構によれば、国産品と輸入品を合わせた今後の期末在庫の推移は、8月が181.8千ト(同82.3%)、9月が178.0千ト(同83.5%)と、引き続き前年を大幅に下回るものと予測している。</p>
枝肉相場	<p>1.R3年8月速報値 ○ 令和3年8月の東京食肉市場枝肉相場は速報値(8/31時点)で626円/kg(前年比98.8%)となった。8月は出荷頭数の減少と季節需要もあり、上旬の市況は700円台まで続伸する活発な展開となったが、お盆前には500円台まで市況は下落した。しかし盆明け以降の出荷頭数の伸び悩みにより、中旬から下旬には市況は再び上昇し、600円台前半の堅調な推移を続けた。全国的に出荷頭数が伸び悩むなか、需要面は焼き材とスノ物中心の底堅い内食需要に支えられ、供給面では通関遅れが恒常化している不安定な輸入品の入荷状況もあり、月間平均ではほぼ前年並みの相場を維持することとなった。</p> <p>2.予測 R3年9月 ○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年8月24日付肉豚生産出荷予測の9月出荷予測頭数は1,337千頭(前年同月比99%)とほぼ前年並の出荷頭数を見込んでいる。需要面では底堅い内食需要が続く中で学校給食が再開され後押が予想されること、供給面では通関遅れによる輸入品入荷状態の不安定化は続くものの、例年は彼岸前後から国内出荷頭数が回復基調に転じることから、前月に比べて弱含みな相場展開が予測される。なお、出荷頭数や新型コロナウイルスの影響に伴う行政対応等による相場への影響には引き続き注視が必要である。</p> <p><相場予想: 東京市場、税込み> R3年7月実績 R3年8月速報値 R3年9月予測 R3年10月予測 【上物】(前年比) 632円(99.1%) 626円(98.8%) 550円(88.4%) 510円(95.0%)</p>

国内生産量の推移			農水省出荷予測 (千頭:%)		
暦年	国内出荷頭数		暦年	出荷予測	
	千頭	前年比		頭数	前年比
H29年	16,338	98.3	R3年 8月	1,273	100
H30年	16,429	100.6	R3年 9月	1,337	99
R1年	16,320	99.3	R3年 10月	1,434	97
R2年	16,686	102.2	R3年 11月	1,442	99
R3年 4月	1,449	100.0	R3年 12月	1,477	97
R3年 5月	1,309	101.5	R4年 1月	1,394	98
R3年 6月	1,346	101.7	※令和3年8月24日更新		
R3年 7月	1,313	96.8			
輸入量の推移			財務省:通関実績		
暦年	輸入数量		チルド数量		
	ト	前年比	ト	前年比	
H29年	932,048	108.2	398,847	112.2	
H30年	924,971	99.2	406,752	102.0	
R1年	958,963	103.7	407,360	100.1	
R2年	891,807	93.0	416,334	102.2	
R3年 4月	98,740	97.1	40,603	107.8	
R3年 5月	71,254	89.1	34,545	103.1	
R3年 6月	75,312	94.6	35,620	111.2	
R3年 7月	74,685	99.5	35,419	102.2	
家計消費量 (ト, 円, %)					
暦年	全国1世帯当たり				
	数量	前年比	金額	前年比	
H29年	20,785	101.7	30,025	101.8	
H30年	21,514	103.5	30,591	101.9	
H31年	21,178	98.4	29,637	96.9	
R2年	22,973	108.5	32,861	110.9	
R3年 4月	1,859	90.3	2,594	89.2	
R3年 5月	1,923	95.0	2,701	91.8	
R3年 6月	1,810	96.2	2,506	93.6	
加工品仕向量			市況の推移(東京市場)*税込み		
暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」	
	千ト	前年比		円/kg	前年比
H29年	376.6	101.6	H29年	569	108.6
H30年	376.6	100.0	H30年	518	91.0
R1年	372.1	98.8	R1年	524	101.2
R2年	376.7	101.2	R2年	561	106.9
R3年 3月	31.4	101.7	R3年5月	506	80.2
R3年 4月	32.6	98.5	R3年6月	619	99.4
R3年 5月	30.5	97.6	R3年7月	635	99.1
R3年 6月	31.7	96.1	R3年8月速報値	626	98.8